

「かおりの街作り」企画コンテストの実施要綱(案)

水・大気環境局大気生活環境室

平成 19 年 5 月 日

1. 趣旨

街作りに「かおり」の要素を取り込むことで、良好なかおり環境を創出しようとする地域の取組を支援することを目指します。

良好なかおり環境により、清涼感や心安らぐような空間を、また、季節のうつろいを感じられるような空間を創出します。

かおりの伝統を生かしたかおりの街作りを行います。

二酸化炭素の吸収源となる「かおりの樹木」を積極的に利用することにより地球温暖化防止にもつながる「かおりの街作り」を進めます。

2. 企画コンテスト概要

< 募集主体 >

主催：環境省

共催：(社)におい・かおり環境協会、(社)日本アロマ環境協会

協力：(社)日本植木協会

< 応募主体 >

地方公共団体、民間企業、学校法人、商店会、町内会等の住民団体や NGO など

但し、植樹場所を確保していること。

< 募集対象 >

かおりの樹木(花木に限らず芽吹きのかおりのする樹木等を含む、複数の樹種も可、草花を含む企画も可)を原則として中高木を中心に 250 本程度以上(中高木を 100 本程度以上)用い、街区・近郊地区等の「かおりの街作り」を演出する企画を募集します。

植樹場所は、公共用地(駅前広場、公園、学校等)と民地(住宅地、工場等)の両方を対象とします。なお、民地は一般に開かれた民地を対象とします。また、屋内空間は除きます。

企画は必ずしも新しい事業の一環である必要はなく、既存の住宅地、公園の樹木を植樹、植え替えする企画も対象に含めます。

「かおりの樹木」の例示として、「かおりの樹木」リスト(別紙 2、別紙 3)を掲載します。なお、本リストに掲載したかおりの樹木は副賞として、表彰式後 1 ~ 2 ヶ月で容易に提供可能な樹木です。

<表彰>

環境大臣賞(1点)

表彰状、副賞として企画に応じたかおりの樹木苗木を原則としてすべて提供

協会賞(2点)

表彰状、副賞として企画に応じたかおりの樹木苗木を原則として100本程度提供

入賞(5点以内)

表彰状、副賞として企画に応じたかおりの樹木苗木の一部を提供

募集主体側が負担するのは樹木苗木の料金と輸送費のみです。植樹等にかかる経費、**企画の名称等のプレート、支柱及び維持管理費**は企画者側で負担してください。

副賞の提供本数は複数の樹種の組み合わせ可能、樹種により本数変更。

<公表>

表彰された企画は環境省が公表し、また、応募したすべての団体もかおりの街作りへの関心の高い団体として公表します。

<応募方法>

4. の応募要領を参照してください。

3. 企画のイメージ

必須条件: かおりの樹木を原則として 250 本程度以上(中高木を 100 本程度以上)使用する街区の香りの演出であること

以下のようにかおりの樹木を組み合わせるなどして、街区単位で全体として面的、線的な広がりを持つかおりの街作りの企画(企画のイメージの例 参照)

事例) <商店街、歩道等>

統一的なイメージのもと、「かおりの樹木」を道路の両脇に 250 本分配置し線的なかおり環境を演出

住戸の生け垣や棚などに「かおり樹木」を連続的に配置し面的なかおり環境を演出

商店街のアイストップとして「かおりの樹木」

<公園、駅前広場等>

公園に 300 本の「かおりの樹木」を配置し、「かおりの名所」の演出

空き地等に「かおりの樹木」500 本を集中的に配置し、「かおりの樹木による吸収源の森」を構成

多くの人が集まるような地点にシンボルツリー的に「かおりの樹木」を植栽

4. 応募要領

< 募集期間 > 5月10日(木)～10月31日(水) (当日消印有効)

< 募集様式 > 電子データ(記載要領を参考の上、別紙1の登録票に、現地地図、かおりの樹木配置図、現状写真、主要な地点の成木時の予想図、概要ペーパー(A3)、その他必要な資料を添付して提出をしてください。)

概要ペーパーは、企画の紹介文(600～800字)、使用する樹木の本数、現地地図、配置図、現状写真、予想図等を組み合わせて、作成。

1団体で複数応募も可能。

5. 選考の方法

< 選考委員 >

岩崎 好陽	におい・かおり環境協会会長
宇田川 僚一	日本アロマ環境協会理事
近藤 三雄	東京農業大学地域環境学部教授
佐藤 友美子	サントリー次世代研究所部長
畑 正高	香老舗松栄堂社長
藤田 八暉	久留米大学教授、日本アロマ環境協会顧問

< 企画評価の観点 >

本趣旨目的に合致しているかどうかを「企画のねらい(コンセプト)」、「アピールポイント」、「実行可能性」などの観点から総合的に評価します。また、提出して頂く図や写真も評価のポイントとします。

6. スケジュール(予定)

10月31日	「かおりの街作り」企画コンテスト締切
H20年1月	表彰
H20年2月～	受賞者への樹木の送付

7. 応募先及び問い合わせ先

< 応募先 >

電子データを電子メールまたは郵送で、(社)におい・かおり環境協会までお送り下さい。

E-mail : info@orea.or.jp TEL:03-5835-0315 FAX:03-5835-0316

郵送先 〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-6-2 タカラビル 4階
社団法人 おい・かおり環境協会 (担当:重岡、小川、中辻)

< 問い合わせ先 >

お問い合わせは電子メールまたは電話で受け付けます。お急ぎでない場合は、電子メールでのお問い合わせをお願い致します。

E-mail : KAORI-CONTEST@env.go.jp TEL:03-5521-8299
環境省水・大気環境局大気生活環境室臭気対策係 (担当:野本)

企画のイメージの例

< 街路樹の例 >



< 住宅地の例 >



< 河川敷の例 >



< 公園の例 >



環境大臣賞

奈川地区「かおりとチョウの森」づくり

■企画の目的

奈川地区は、観光ツーリズムのモデル地区になっているため、地区内外の子供たちや訪れる人に「かおり」を感じ「チョウの飛翔」を体験してもらい、環境・情操教育役立たせることを念頭に、将来にわたっての鎮守の森的な地域の財産、地域内外の住民のためのかおりの資産の実現を目指し、以下の4点をねらいとする。

- ①かおりのある樹木を植栽して、かおりを楽しむだけでなく、チョウなど昆虫の生態の学習の場としての機能を持つ
- ②地区内外の子供たちに、四季を通じて生きた素材により原体験を経験してもらう
- ③子々孫々へと森を継承するために、気候風土に適した郷土樹種を出来る限り選定
- ④NPO法人と提携し、イベント時のガイドや随時自然学習時への便宜を図る

■植栽予定地の現状

- 全体面積は約7ヘクタール、芝生広場などオープンスペースが広く、子供向けの遊具も配置。色々な樹種の森や昆虫が集まる森のゾーンがあれば、真の自然体験や環境教育に役立つと思われる。
- 公園内には二つの池があり、周囲は岩組みとなっているだけで、オープンスペースになっているため、動植物への配慮がなされているとはいえない。
- 上の池の北側面。低木が僅かにあるだけで、樹木はまばらなためここに新たにかおりのある樹種やチョウの食樹を植栽することが可能。
- 下の池の西側面。「親水広場」という既存の看板があるが、この辺りに「生きもの情報板」を設置し、タイムリーに体験や観察の出来るかおりの情報やチョウの情報を、逐次更新しながら、表示し管理していく。

■将来イメージ

